

平成30年 市政10大ニュース

順位	項目	説明
1	中核市「鳥取市」誕生！ ～県から保健所事務を受託・因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏を形成～	本市は、平成30年4月1日に中核市へ移行し、新たな「鳥取市」がスタートしました。鳥取市保健所も新設され、ワンストップで迅速かつ充実した市民サービスを展開する体制も整いました。また、本市、県東部4町及び新温泉町の1市5町で「因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏」を形成し、医療、福祉、産業・観光、農林水産業、地域公共交通など各分野でさまざまな事業に取り組み、活力ある社会経済、発展し続ける圏域をめざしていくこととしています。
2	集中豪雨やたび重なる台風襲来 ～自然災害が相次ぐ～	平成30年は台風や集中豪雨など自然災害の多い年でした。中でも平成30年7月豪雨は、西日本を中心に記録的な大雨となり各地で土砂崩れや河川の氾濫など甚大な被害をもたらしました。本市においても、数十年に一度といわれる「大雨特別警報」が全市域を対象に発表されたことを受け、市町村合併以降初めて全市域を対象に避難指示を発令し、市民の安全・安心を第一に万全な災害対応に全力を尽くしましたが、円通寺大口堰の損壊や農道の法面崩壊、住居等への浸水のほか、河川、市道、農地、公園等の271箇所で崩落や損壊が発生するなど、市内全域にわたって大きな被害に見舞われました。
3	深澤市政2期目スタート	平成30年3月25日執行の市長選挙において深澤市長が再任され、2期目の深澤市政がスタートしました。「誰もが暮らしたくなるまち」「住んでよかったと思うまち」の実現をめざし、さまざまな取り組みを進めています。
4	県内初の義務教育学校3校開校 ～「鹿野学園」が4月に開校～	義務教育学校は、2016年に学校教育法が改正され新設された学校教育制度で、小・中学校9年間の義務教育課程を一つの学校で一貫して行い、地域の実情にあった教育課程を学校独自に編成できる制度です。平成25年から鹿野地域の教育についての検討と協議を重ね、義務教育学校として地域独自の教科「表鷲科」の創設し、今年4月に「鹿野学園」が開校したほか、すでに小中一貫校となっている「福部未来学園」、「湖南学園」の2校も、それぞれ「みらい科」「コミュニケーション科」を新設し、義務教育学校として新たなスタートを切りました。今後は地域、家庭、学校が連携し、魅力ある学校づくりを進めるとともに地域の将来を担う人材育成が期待されています。
5	鳥取砂丘ビジターセンターがオープン！	鳥取砂丘周辺での自然体験や観光情報などの利用案内を行う「山陰海岸国立公園鳥取砂丘ビジターセンター」が、10月26日鳥取砂丘駐車場内にオープンしました。館内にはレクチャールームのほか、鳥取砂丘の成り立ちや生息する貴重な動植物を紹介する展示室、屋内外には休憩スペースも備え、山陰海岸ジオパークに関する情報提供等を行うカウンターも設置しています。今後、砂丘ガイドや体験・学習イベント等さまざまな事業を通じて、鳥取砂丘の魅力を全世界に発信していくこととしています。
6	改選により市議会が新体制となる	平成30年11月18日、任期満了に伴う市議会議員選挙が行われました。現職26名、新人6名が当選し、12月定例会から新体制での市議会がスタートとなりました。
7	平成31年秋の開庁に向け順調に工事進む	防災、市民サービスの拠点であり、山陰東部圏域の一体的な発展の礎となる市役所新本庁舎の建設工事が本格化しました。11月に庁舎棟基礎部分の免震装置設置が完了したほか、最上階までの鉄骨の組み上げ、市民交流棟や平面駐車場の高上げなど、予定どおり順調に工事が進んでいます。平成31年9月の工事完了後、10月から段階的に移転・開庁し、11月5日には全ての業務を新庁舎で開始する予定としています。
8	鳥取砂丘コナン空港ビルグランドオープン！！	鳥取砂丘コナン空港のターミナルビル一体化整備が完了し、7月28日にグランドオープンしました。グランドオープンに併せて、飲食店や売店が7店舗に増えたほか、情報発信・観光・賑わい・ビジネスの拠点としての機能が充実され、航空機利用者をはじめ地元住民も楽しめる施設として生まれ変わりました。なお、オープン当日には鳥取港と併せて10,900人という過去最大の来場者で賑わいました。
9	「国指定史跡鳥取城跡擬宝珠橋」復元完成	平成18年から事業を進めてきた史跡鳥取城跡大手登城路復元整備の内、最初の成果である擬宝珠橋の復元が完成し、10月8日渡り初めが行われました。当日は、これまで復元に尽力されてきた鳥取商工会議所青年部による奴（やっこ）隊を先頭に、渡り初めが行われ、擬宝珠橋創建時の藩主池田光政ゆかりの備前岡山城鉄砲隊による演武も実施されるなど、1000人以上もの市民が来場し、新しい鳥取城跡のシンボル完成を祝いました。
10	日本遺産「荒波を超えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」追加認定	平成29年度認定の「荒波を超えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」について、鳥取市を含む27自治体の構成文化財が新たにストーリーに追加され、認定内容の変更が認められました。今後は、一般社団法人北前船交流拡大機構など関係機関と連携をはかりながら、日本遺産を通じた地域活性化事業に取り組んでいきます。